

2018年10月15日

報道関係各位

EFPIA Japan(欧州製薬団体連合会)

EFPIA Japan 患者団体支援プログラム「PASE」 第2回 PASE AWARD 決定のお知らせ

EFPIA Japan（欧州製薬団体連合会）は、昨年7月に創設した患者団体支援プログラム「PASE」の一環として、日本の患者の権利を擁護する活動の発展に特に寄与する団体に助成金を提供しています。2回目となる本年は、「患者さんがより良い治療を受け続けられる環境を守るための患者団体活動」を応募テーマとし、総額145万円の助成を行います。

EFPIA Japan は、本年7月より患者団体による活動計画の募集を開始し、8月31日まで全17団体からの応募をいただきました。応募いただいたの活動について選考を行った結果、これまでの何れの応募内容も優れており、EFPIA Japan としても本賞の重要性に鑑みて、健闘賞を昨年の5万円から15万円に増額することにいたしました。

第2回 PASE AWARD

受賞名	受賞団体	応募内容の概要	助成金
大賞	一般社団法人 CSR プロジェクト	● 副作用マネジメントにおけるアンメットメディカルニーズの量的調査の実施	50万円
大賞	NPO 法人 HAEJ	● HAE 患者さんの在宅治療における環境改善支援	50万円
健闘賞	NPO 法人 パンキャンジャパン	● バイオマーカーによって処方される薬剤の患者さんアクセスの強化と遺伝性治療薬に関する情報の適切な使用	15万円
健闘賞	一般社団法人 全国ファブリー病患者と家族の会	● ファブリー病患者さんの在宅治療における選択肢拡大の促進	15万円
健闘賞	一般社団法人 ゲノム医療当事者団体連合会	● ゲノム医療に対する社会の認知向上	15万円

EFPIA Japan 会長のオーレ・ムスコウ・ベックは次のように述べています。「第2回 PASE AWARD に応募いただいた全ての患者団体に御礼申し上げます。患者さんの人生を豊かにするという EFPIA Japan と同じ想いをどの患者団体も持たれていたため、大賞決定は困難を極めました。また、今回の審査に際し、最終選考に残られた患者団体の情熱と幅広い知識に感銘を受けました。患者さん中心のヘルスケア環境を整備するために、患者団体を含む全ての関係者が

EFPIA Japan

Meiji Yasuda Seimei Building, 2-1-1, Marunouchi, Chiyoda-ku, Tokyo 100-0005

Tel: +81-3-6266-1354

Fax: +81-3-6266-1819

社会に対して声を上げる力があると信じています。EFPIA Japan は、日本の患者さんが最新の医療を受けることが出来るように、今後もこうした患者団体の活動を支援していきます」。

###

EFPIA Japan 患者団体支援プログラム「PASE」について

「PASE (Patient Advocacy Support by EFPIA Japan)」は、EFPIA Japan の患者中心思考を具現化するため昨年、新たに創設しました。PASE は日本の患者団体活動の活性化を促し、患者さんの声が適切に医療制度に反映されることで、患者さんを取り巻く医療環境がより良いものに発展していくことを支援していきます。PASE の一環として、EFPIA Japan は、PASE AWARD を創設し、患者の権利を擁護する活動の発展に寄与する団体の活動に助成金を拠出しています。

第2回 PASE AWARD について

患者さんの治療に希望を与える新たな医薬品は、イノベーション¹への持続的な投資により生み出され、日本で承認された様々な新薬は患者さんの人生に前向きな変化をもたらしてきました。しかし昨今の薬価制度の抜本的改革などにより日本における医薬品の研究開発が遅れ、ドラッグラグ²の再燃につながる懸念されています。第2回目となる本年は、こうした環境変化にともなう患者さんへの潜在的影響を踏まえ、「患者さんがより良い治療を受け続けられる環境を守るための患者団体活動」を応募テーマに設定し、7月6日から8月31日にわたり、国内で法人格を有して活動する患者団体よりPASE助成金を用いた活動案を公募し、「日本全体の医療への貢献」、「疾患自体や関連する対応策の啓発有無」、「過去の活動実績と比較して、提案されている活動の新規性」、「計画の実行可能性」、「提案内容内で占めるPASE助成金の重要度」の5つの評価項目に基づき選考を行ないました。

第2回PASE大賞に選出された2団体には、EFPIA Japanよりそれぞれ50万円の助成金が提供されるほか、本年11月8日に予定される第2回PASE AWARD授与式に出席いただきます。また、健闘賞に選出された3団体については、15万円の助成金が授与されます。第2回PASE AWARD授与式の詳細については、別途ご案内いたします。

欧州製薬団体連合会 (EFPIA) Japan について

2002年4月に設立されたEFPIA Japanには、日本で事業展開している欧州の研究開発志向の製薬企業24社が加盟しています。2017年の加盟各社の総売上高は、日本の製薬市場の売上の約22%を占めています。EFPIA Japanの使命は、「革新的な医薬品・ワクチンの早期導入を通じて、日本の医療と患者さんに貢献する」ことです。EFPIA Japanは日本の医療向上に向けて政策決定者との対話を強化することを目指しています。

欧州製薬団体連合会 EFPIA (The European Federation of Pharmaceutical Industries and Associations) について

ベルギーの首都ブリュッセルに本部を置くEFPIAは、欧州で事業を展開する製薬業界の団体です。EFPIAに直接加盟する国の団体は33団体、主要な医薬品企業は42社ですが、EFPIAは世界中の人々のクオリティ・オブ・ライフを

改善する新薬の開発・提供に専念する 1,900 社の声も代弁しています。

詳細は下記をご参照ください。

<http://efpia.jp/> (EFPIA Japan)

<http://www.efpia.eu> (EFPIA)

- 1 イノベーション：最先端の科学技術に基づく革新的創薬
- 2 ドラッグラグ：海外で使われている医薬品が、日本で承認されて使えるようになるまでの時間の差

お問い合わせ先：

藤田 均、EFPIA Japan 広報委員会
〒105-6333 東京都港区虎ノ門 1-23-1
ノバルティス ファーマ株式会社
TEL: 090-9837-4326
Mail: hitoshi.fujita@novartis.com

倉橋 愉美子、EFPIA Japan アクセス委員会 PASE担当
〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-8-3 丸の内トラストタワー
アストラゼネカ株式会社
TEL : 03-6268-3857
Mail: Yumiko.Kurahashi@astrazeneca.com

【参考資料】

2018年 PASE 応募 17 団体一覧（順不同）

応募団体名	疾患	URL
NPO 法人 PAH の会	肺高血圧症	https://www.pha-japan.ne.jp/
団体意向により非開示	XXXX	XXXX
一般社団法人 CSR プロジェクト	がん	http://workingsurvivors.org/
NPO 法人 アレルギーを考える母の会	アレルギー	http://hahanokai.org/
認定 NPO 法人 がんサポートコミュニティ	がん	http://www.csc-japan.org/
認定 NPO 法人 乳がん患者友の会きらら	乳がん	http://www.nakagawak.jp/
NPO 法人 PanCAN Japan	すい臓がん	https://www.pancan.jp/
認定 NPO 法人 日本多発性硬化症協会	多発性硬化症	http://www.jmss-s.jp/
NPO 法人 ブーゲンビリア	乳がん・婦人科がん	http://buugenvilia.com/
一般社団法人 日本 ALS 協会	ALS	http://alsjapan.org/
NPO 法人 HAEJ	遺伝性血管性浮腫	https://haej.org/
公益社団法人 日本てんかん協会（波の会）	てんかん	http://www.jea-net.jp/
一般社団法人 全国ファブリー病患者と家族の会	ファブリー病	http://www.fabrynet.jp/
NPO 法人 エーエルサインラボ	小児食物アレルギー	https://www.al-labo.org/
一般社団法人 アレルギー患者の声を届ける会	アレルギー	https://aalp201705.wixsite.com/aalp
一般社団法人 ゲノム医療当事者団体連合会	遺伝性疾患	https://www.facebook.com/genomeren/
認定特定非営利活動法人 オレンジティ	女性特有のがん	http://o-tea.org/